

# 決算説明資料



2022年3月期



ニッタ株式会社

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.



1. 2022年3月期 決算概要
2. 2023年3月期 業績予想
3. トピックス

連 結	2021/3期	売上比	2022/3期	売上比	増減額	増減率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)		
売上高	78,697	100.0	83,734	100.0	—	—
売上原価	59,836	76.0	61,609	73.6	—	—
売上総利益	18,860	24.0	22,124	26.4	3,264	17.3
販管費	15,999	20.3	16,787	20.0	788	4.9
営業利益	2,861	3.6	5,337	6.4	2,475	86.5
経常利益	5,910	7.5	13,193	15.8	7,282	123.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,723	6.0	10,489	12.5	5,765	122.1
設備投資額	2,533		2,704			
減価償却費	2,857		2,972			
研究開発費	1,819		1,853			

※2022/3期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しています。  
上記2022/3期実績の数値は当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

○売上高

- ・国内外の主要業界の需要回復により増収

○営業利益

- ・増収効果に加え、原価低減や販管費の抑制もあり増益

○経常利益

- ・半導体業界向け等の需要が好調に推移したことにより、持分法投資利益が増加

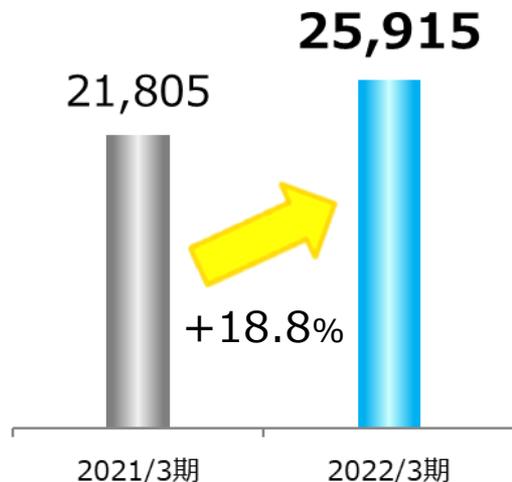
当社は今期(2022年3月期)より「収益認識に関する会計基準」を適用しています。  
当頁以降は当該会計基準を2021年3月期の期首より適用したと仮定して、売上高・売上原価等を算定しております。

連 結	2021/3期	売上比	2022/3期	売上比	増減額	増減率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	73,495	100.0	83,734	100.0	10,239	13.9
売上原価	54,634	74.3	61,544	73.5	6,909	12.6
売上総利益	18,860	25.7	22,189	26.5	3,329	17.7
販管費	15,999	21.8	16,852	20.1	853	5.3
営業利益	2,861	3.9	5,337	6.4	2,475	86.5
経常利益	5,910	8.0	13,193	15.8	7,282	123.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,723	6.4	10,489	12.5	5,765	122.1
設備投資額	2,533		2,710			
減価償却費	2,857		2,972			
研究開発費	1,819		1,853			

国内は、物流業界向けが好調  
 工作機械向けが回復傾向  
 海外は、物流業界向けや繊維業界向けが好調

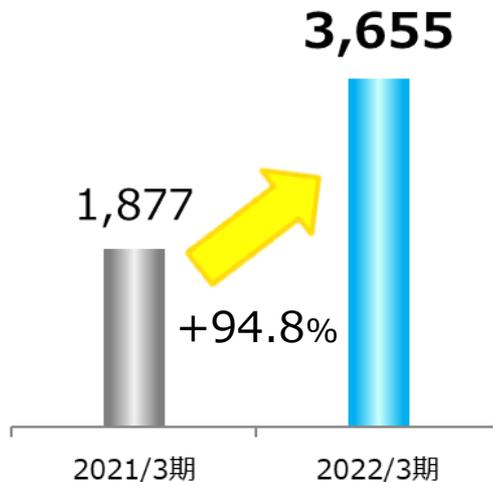
## 売上高

(単位:百万円)



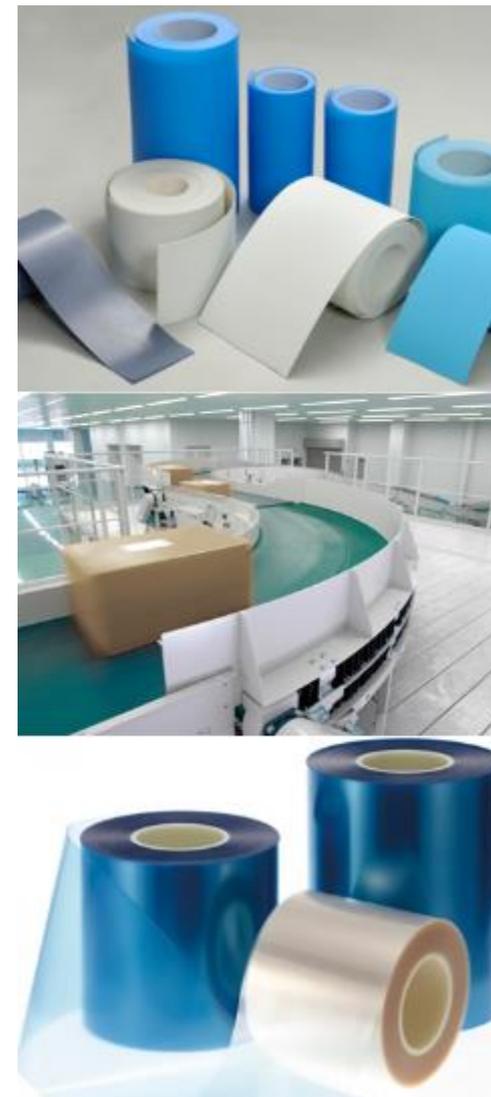
## セグメント利益

(単位:百万円)



### ※報告セグメントの区分変更

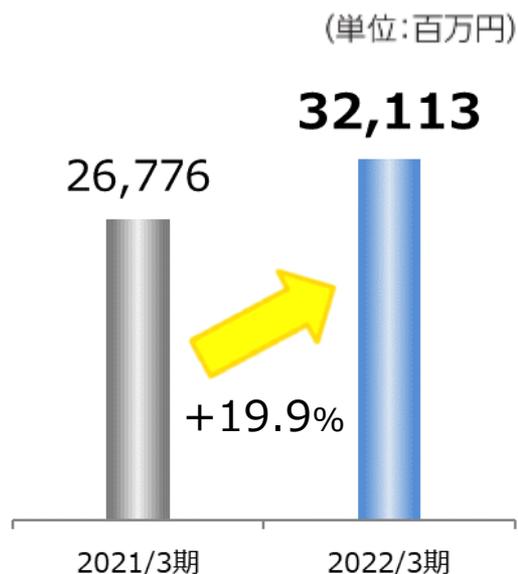
当期期首より感温性粘着テープ及びセンサ製品を「其他産業用製品事業」から「ベルト・ゴム製品事業」に変更しました。上記グラフは2021/3期も同様に変更後の数値としております。





国内、海外共に、半導体製造装置向けや建設機械向けが好調  
自動車業界向けは半導体不足等の影響を受け年度後半減速

## 売上高

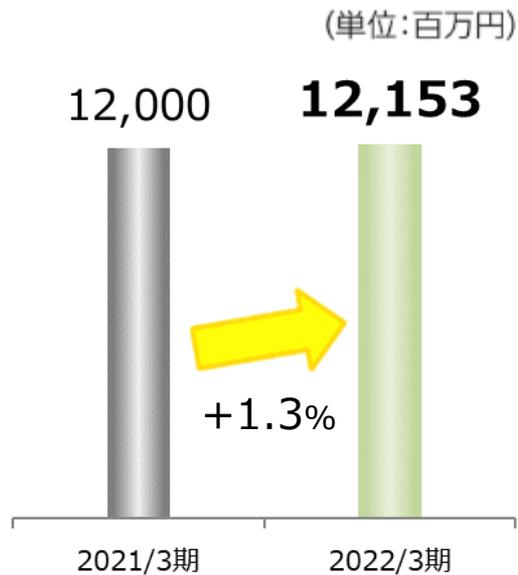


## セグメント利益

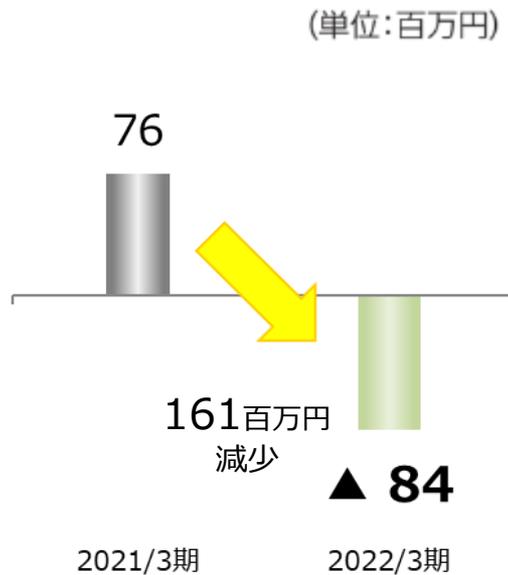


国内は鉄道部品、海外はOA機器向け製品が堅調  
 鉄道部品の製品補償引当金を計上

### 売上高



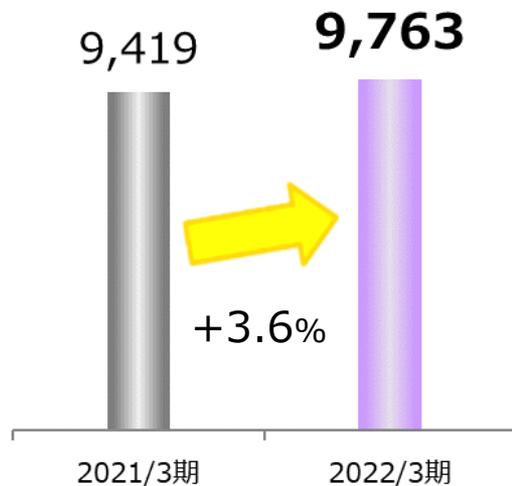
### セグメント利益



空調製品は、半導体業界向けや測定器が堅調

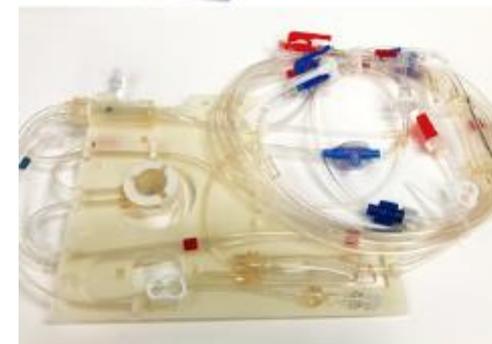
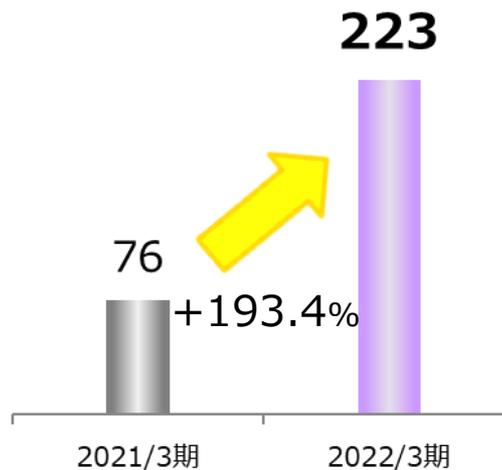
## 売上高

(単位:百万円)



## セグメント利益

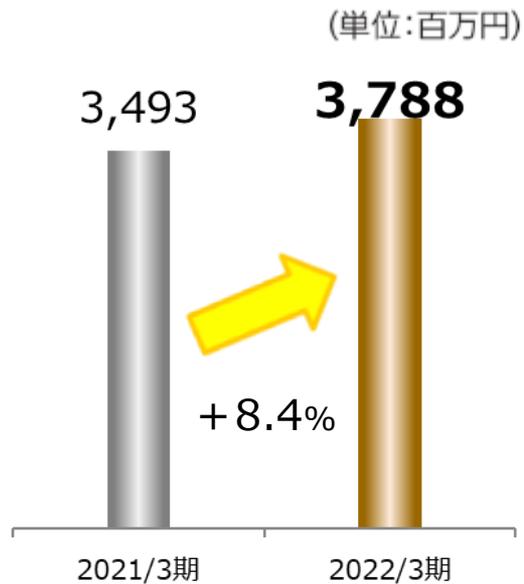
(単位:百万円)



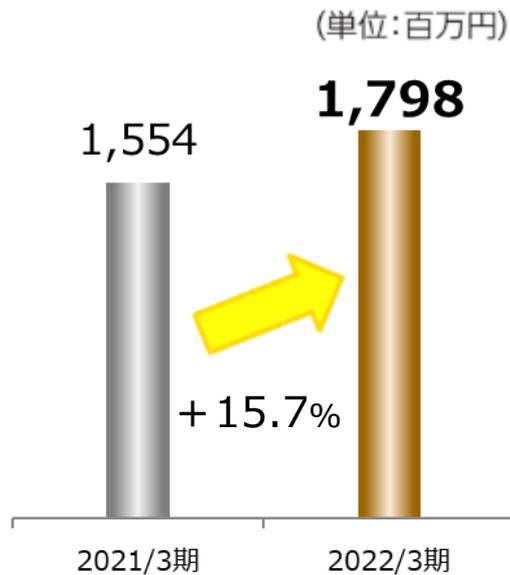
経営指導の対象会社の業績好調

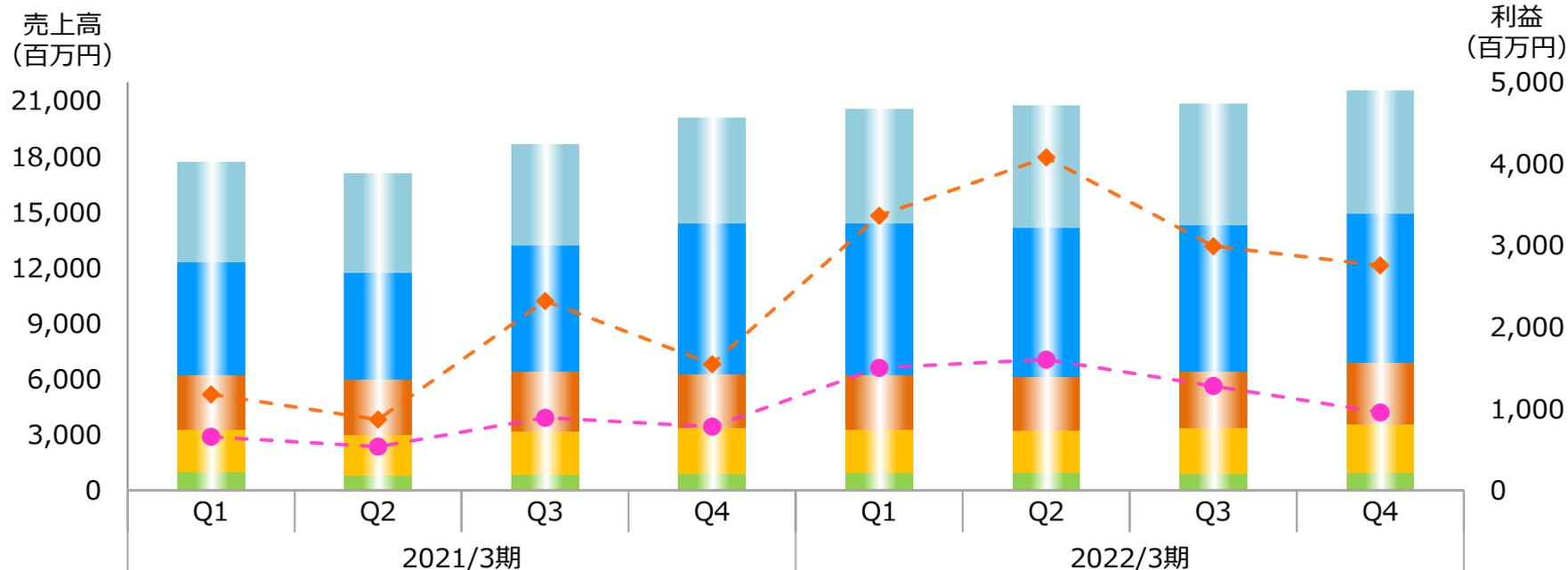
不動産事業は新型コロナウイルスの影響でやや低調

### 売上高

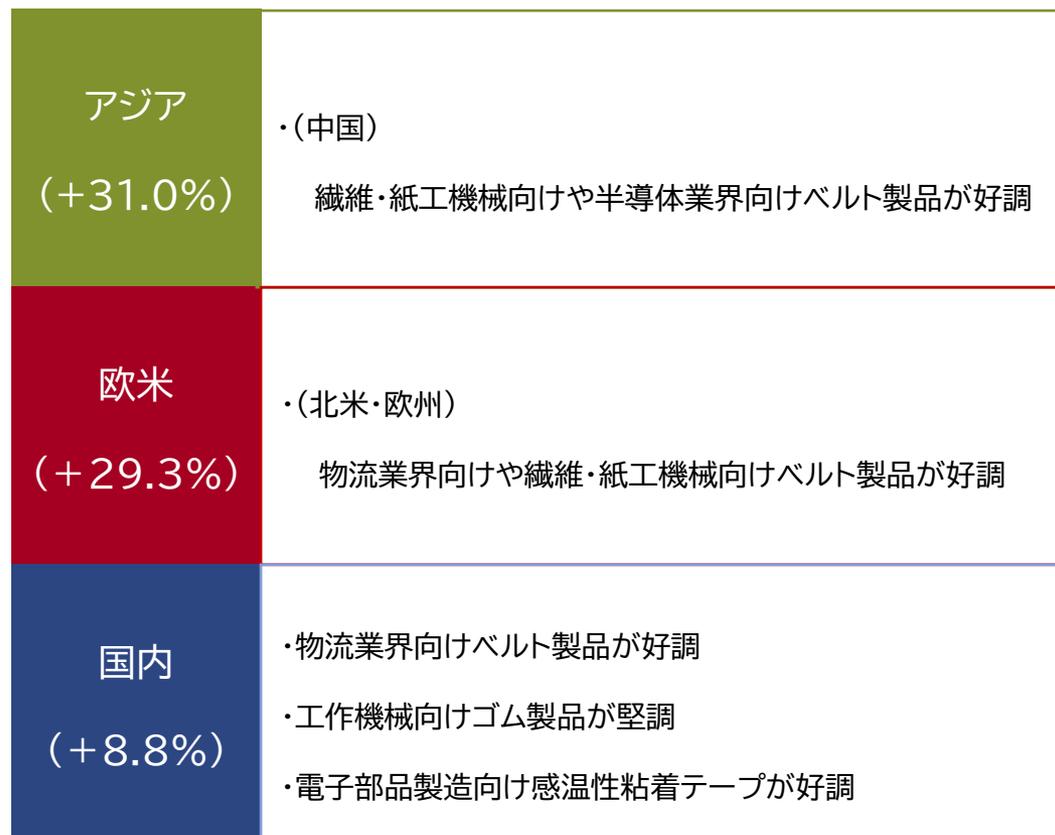
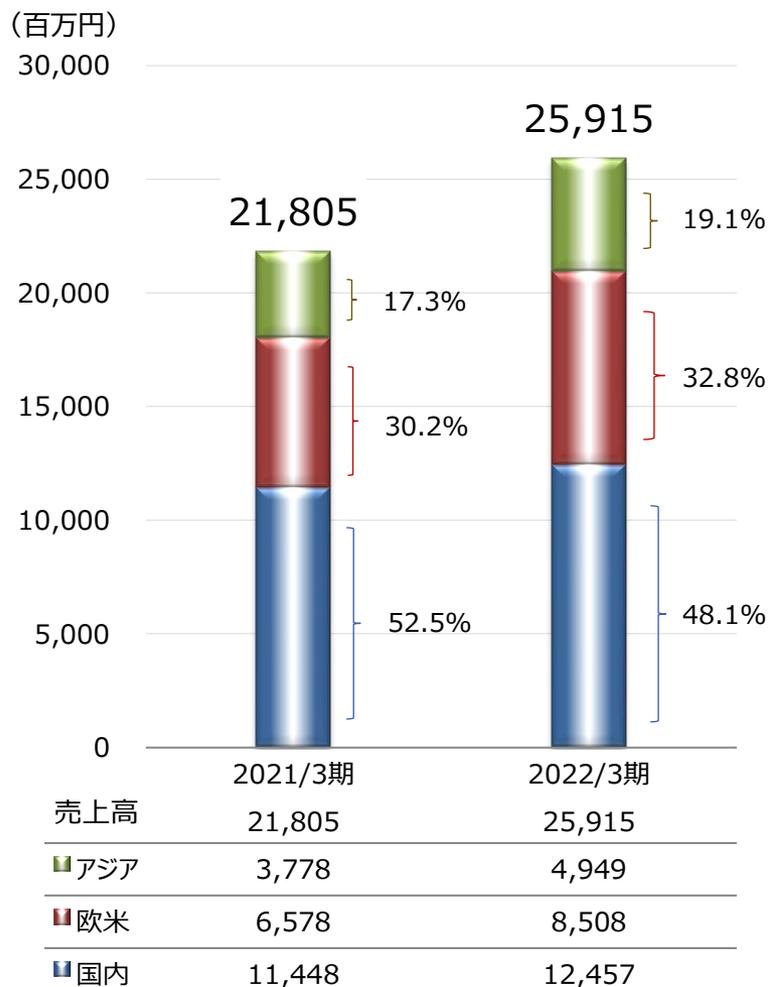


### セグメント利益

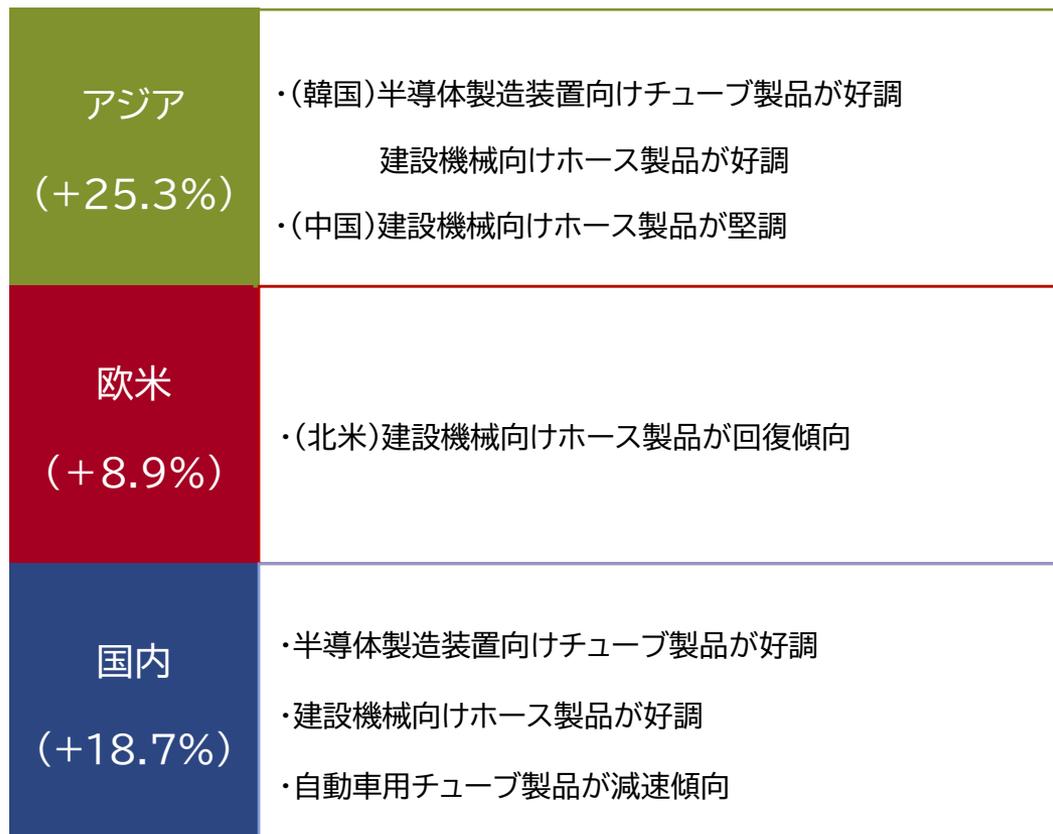
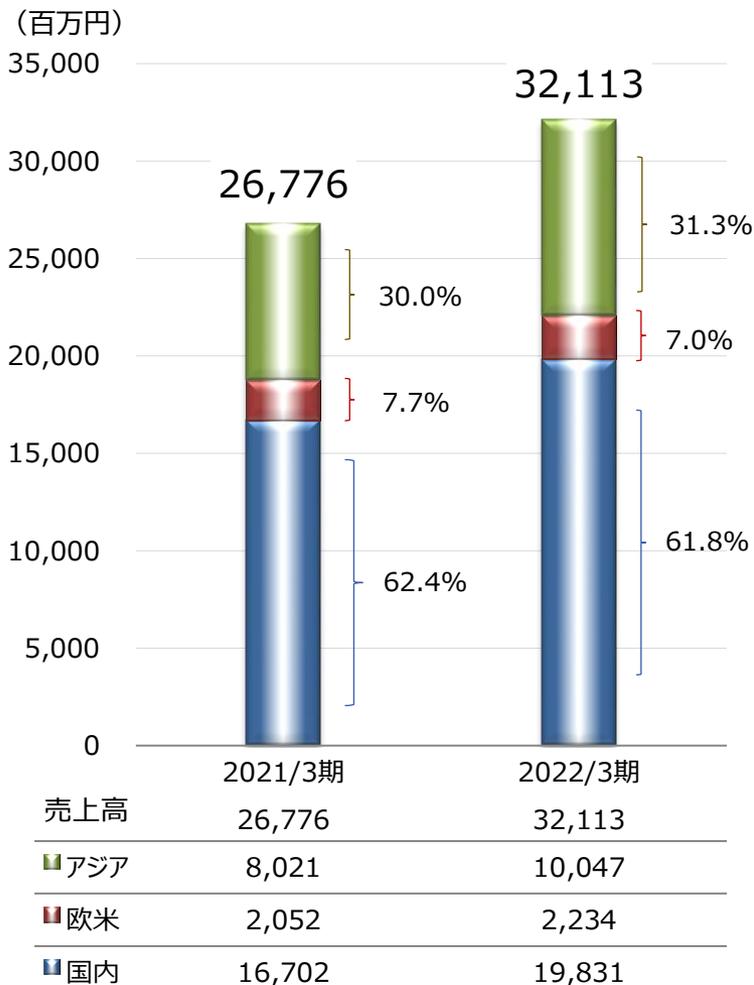




	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
TOTAL	17,697	17,083	18,642	20,071	20,560	20,760	20,847	21,565
ベルト・ゴム	5,394	5,341	5,414	5,654	6,168	6,577	6,518	6,651
ホース・チューブ	6,079	5,745	6,817	8,134	8,149	8,034	7,911	8,018
化工品	2,917	2,993	3,205	2,883	2,936	2,895	3,022	3,298
その他産業	2,325	2,213	2,357	2,523	2,352	2,312	2,466	2,632
その他	980	789	847	875	953	941	928	964
経常利益	1,177	866	2,321	1,546	3,365	4,080	2,993	2,754
営業利益	655	535	889	780	1,501	1,601	1,279	954



カッコの数値は前年同期比増減率

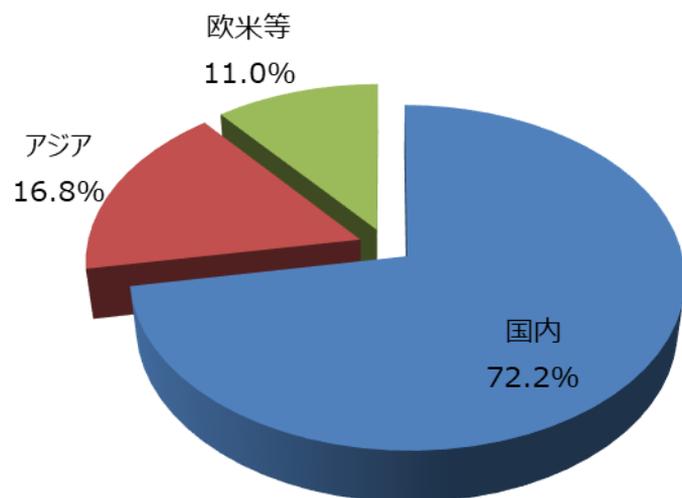


カッコの数値は前年同期比増減率

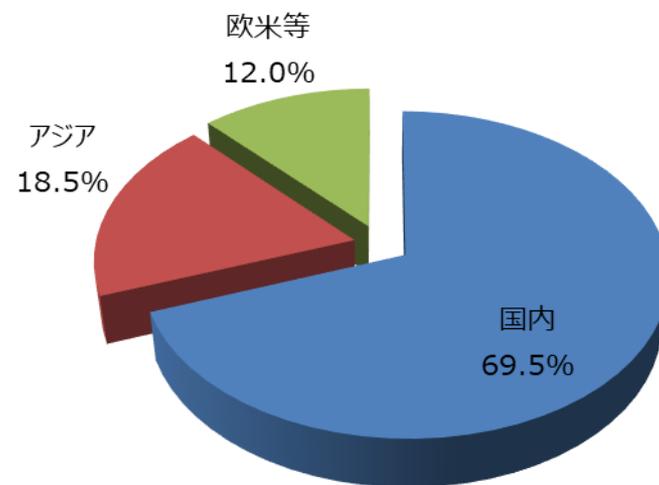
国内は堅調、海外は欧米・韓国が好調

海外売上高比率 27.8%

海外売上高比率 30.5%



2021/3期  
売上高 73,495百万円



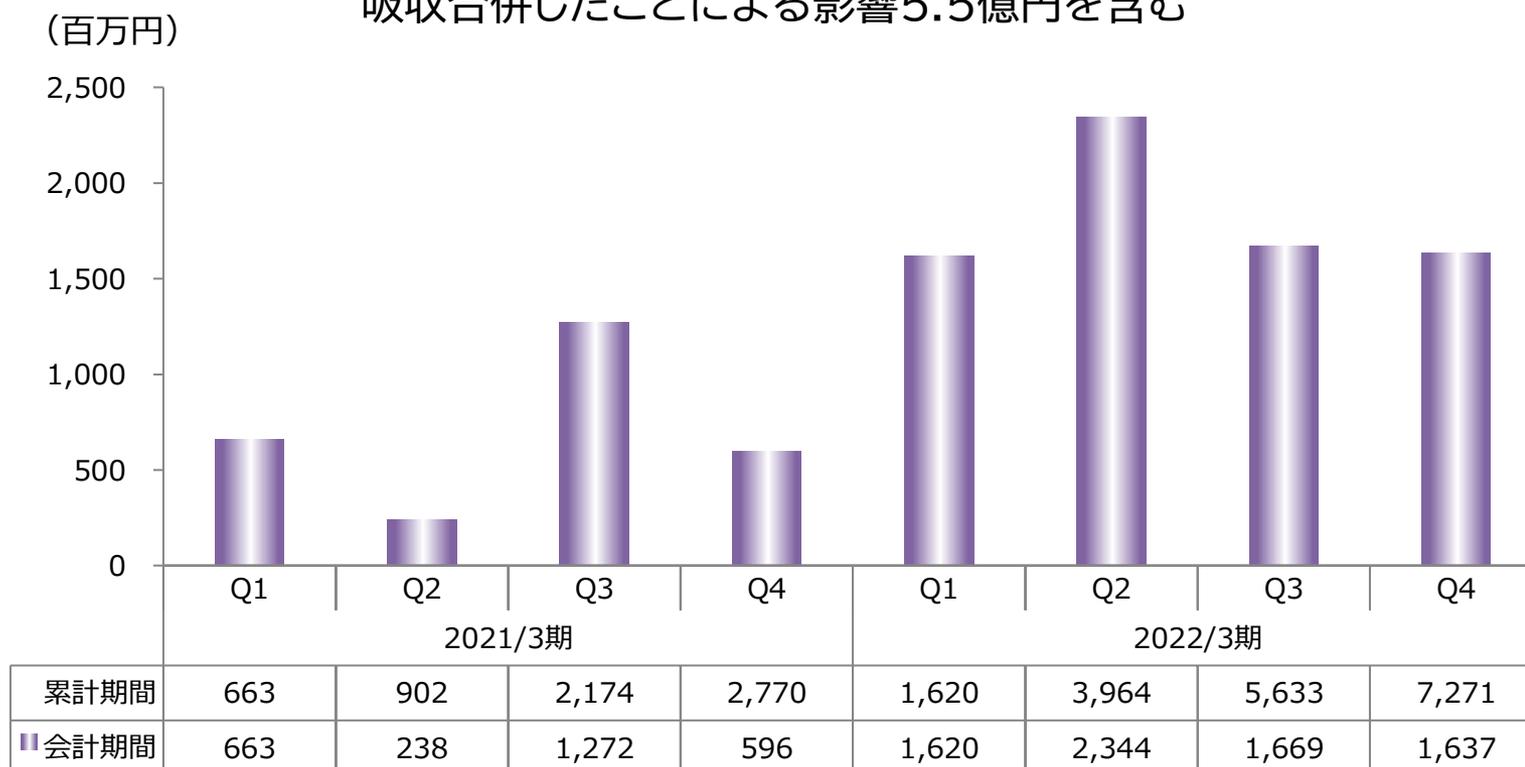
2022/3期  
売上高 83,734百万円

## GUAグループ

- ・一般産業向け:半導体業界向けを中心に好調
- ・自動車業界向け:需要が回復

## ニッタ・デュポングループ

- ・半導体業界の需要が旺盛
- ・2022/3期Q2にニッタ・デュポンが同社の100%子会社を吸収合併したことによる影響5.5億円を含む



1. 2022年3月期 決算概要

2. 2023年3月期 業績予想

3. トピックス

物流業界や半導体業界は好調に推移する見通し

中国ゼロコロナ政策やウクライナ情勢等の影響による売上高の減少や、

更なる原材料価格の高騰、物流コストの上昇などによる、業績の下振れリスクを懸念

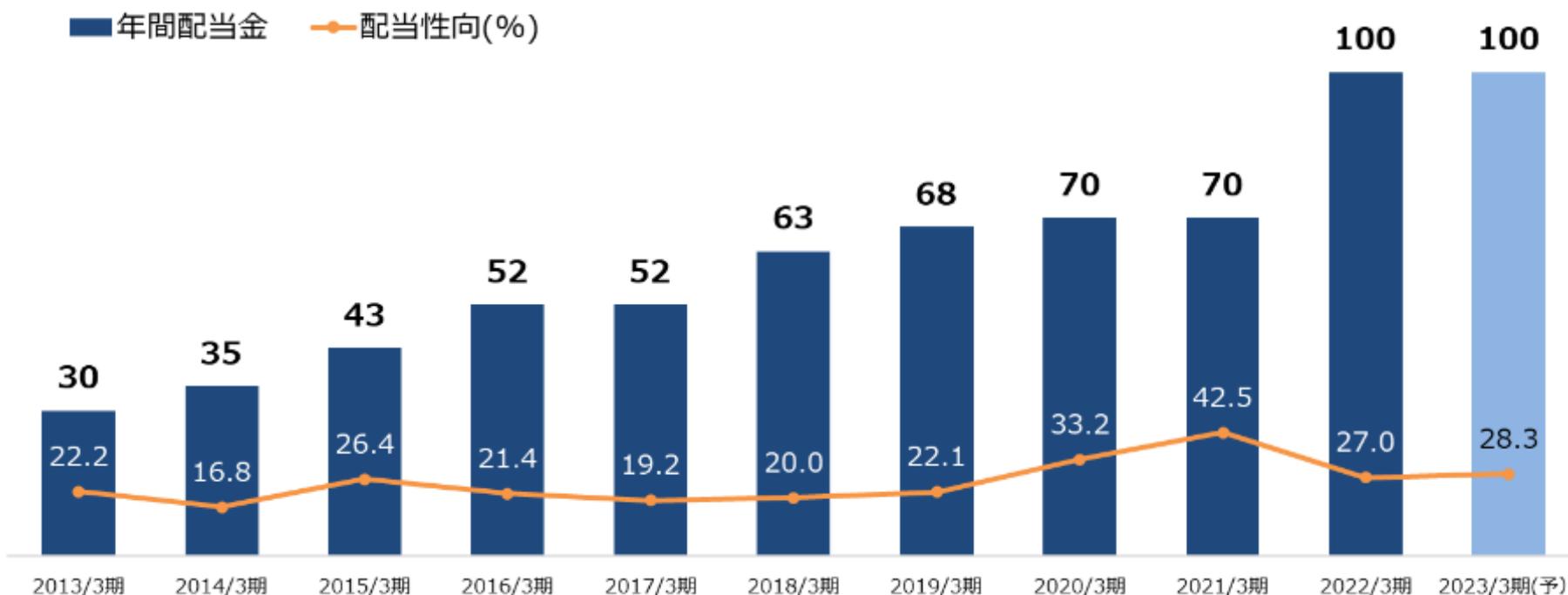
科目	2022/3期実績(百万円)			2023/3期予想(百万円)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
	上期	下期	通期	上期予想	下期予想	通期予想		
売上高	41,320	42,413	<b>83,734</b>	42,000	44,000	<b>86,000</b>	2,266	2.7
営業利益	3,102	2,234	<b>5,337</b>	2,600	2,700	<b>5,300</b>	▲ 37	▲ 0.7
経常利益	7,445	5,747	<b>13,193</b>	6,100	6,300	<b>12,400</b>	▲ 793	▲ 6.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,110	4,378	<b>10,489</b>	4,900	5,100	<b>10,000</b>	▲ 489	▲ 4.7
設備投資額		2,710			<b>5,000</b>			
減価償却費		2,972			<b>3,300</b>			
研究開発費		1,853			<b>2,000</b>			

2023/3期予想 設備投資額の内容: ○Namd製造用建物及び機械装置:12億円 ○千葉の物流倉庫 建設費用:10億円

2022/3期 :前期比30円増配し、年間配当金100円

2023/3期(予定) :年間配当金100円(中間50円、期末50円)を予定

中長期経営計画「SHIFT2030」のPhase1 (2022/3~2025/3)の期間は、  
連結配当性向30%を目安に、安定的且つ着実な配当を継続的に実施



1. 2022年3月期 決算概要

2. 2023年3月期 業績予想

3. トピックス

### ①成長へのSHIFT

SHIFT for Growth

- ・既存事業の持続的成長
- ・新事業の探索
- ・新製品開発の加速

### ②企業価値向上へのSHIFT

SHIFT for Corporate Value Enhancement

- ・品質及びトータルコスト競争力の向上
- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化
- ・ESG推進とSDGsのGoal達成

### ③更なるグローバル化へのSHIFT

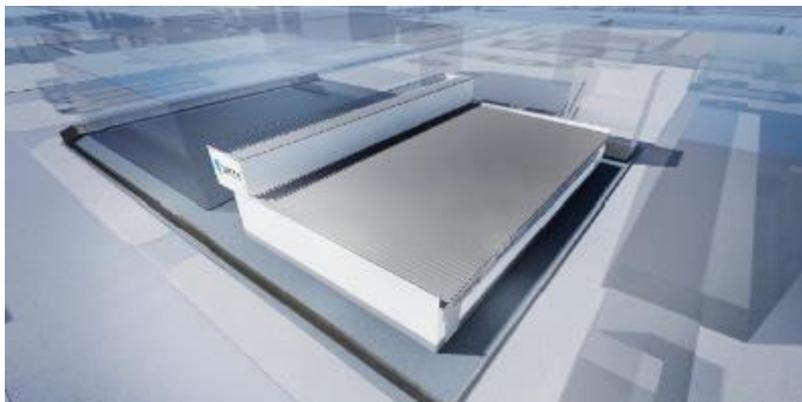
SHIFT for Further Globalization

- ・各事業の更なるグローバル展開
- ・コーポレート部門によるグローバルサポート強化

## 成長の加速に向けた設備投資

- Namd事業化に向け、製造用の新工場を建設  
奈良工場横の駐車場跡地にて建設中  
生産能力を増強し事業化を加速
- 千葉県に物流・加工センターを建設  
分散されていた首都圏の子会社の倉庫を1か所に集約  
倉庫機能の効率化と加工業務拡大による成長を目指す

Namd製造用建物 第1棟(奈良工場横)



物流・加工センター(千葉県白井市)



「新規事業の探索」・「既存事業の持続的成長」

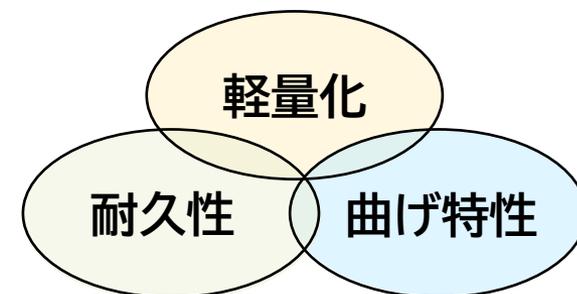
## 2G-Namd G社のゴルフシャフトに採用

2022年4月、G社より発売された「G」シリーズの2代目「aG19」に、弊社の新素材「2G-Namd」を採用頂きました。  
「先端部に使用する事によりエネルギーロスを抑えつつヘッドが走り、高打ち出し、低スピンの期待できる」



出典 G社HP:ニュースリリース「G(ジー)」シリーズから2代目「aG19」が登場」

Namdの特徴



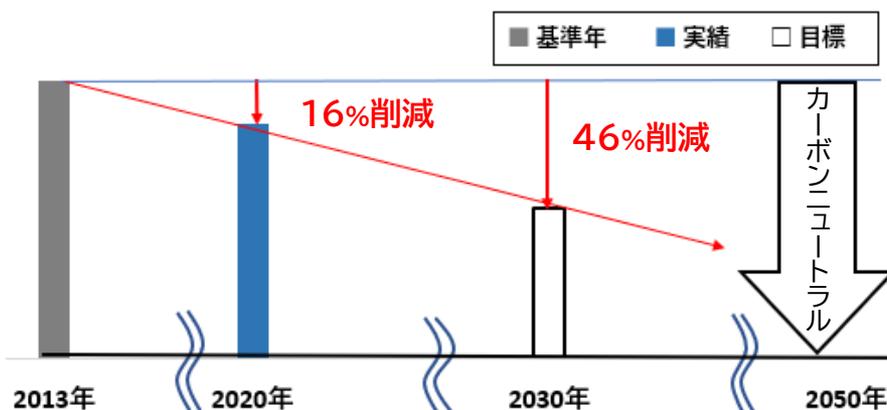
事業化を加速し、スポーツ分野から一般産業分野への展開を図ります

## 気候変動に関する取り組み

温室効果ガス排出量削減に関する基本方針を掲げ、削減に取り組んでおります。

### 温室効果ガス(Scope1,2)排出量削減方針

2030年度までに **46%削減** 対2013年度比  
2050年度までに **カーボンニュートラル実現**



### 排出量削減・抑制の取り組み

- ①省エネの徹底
- ②再生可能エネルギーの活用拡大
- ③GHGフリーエネルギーの購入

### CO<sub>2</sub>排出量の推移(Scope1,2)



カーボンニュートラル実現に向けて、ロードマップを策定し推進しております。

## 4年連続 健康経営優良法人2022に認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する  
「健康経営優良法人2022(大規模法人部門ホワイト500)」に認定されました。  
(認定年:2019年、2020年、2021年、2022年)



出典 経済産業省HP「健康経営優良法人認定制度」

今後もNITTAグループは更なる企業価値の向上を目指して参ります



THANK YOU.